

平成 22 年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成 23 年 6 月
日本中央競馬会

1. 随意契約見直し計画と平成 22 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

	平成 18 年度		平成 22 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(39.0%) 981	(24.8%) 372	(58.9%) 1,269	(37.6%) 373	(29.4%) 288	(0.3%) 1	(74.1%) 1,867	(41.2%) 619
企画競争・公募	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(9.4%) 203	(14.9%) 148	(-%) 203	(-%) 148	(10.6%) 268	(13.6%) 205
競争性のある契約 (小計)	(39.0%) 981	(24.8%) 372	(68.3%) 1,472	(52.5%) 521	(50.1%) 491	(40.1%) 149	(84.8%) 2,135	(54.9%) 824
競争性のない随意契約	(61.0%) 1,537	(75.2%) 1,130	(31.7%) 682	(47.5%) 471	(△55.6%) △855	(△58.3%) △659	(15.2%) 383	(45.1%) 678
合 計	(100%) 2,518	(100%) 1,502	(100%) 2,154	(100%) 993	(△14.4%) △364	(△33.9%) △509	(100%) 2,518	(100%) 1,502

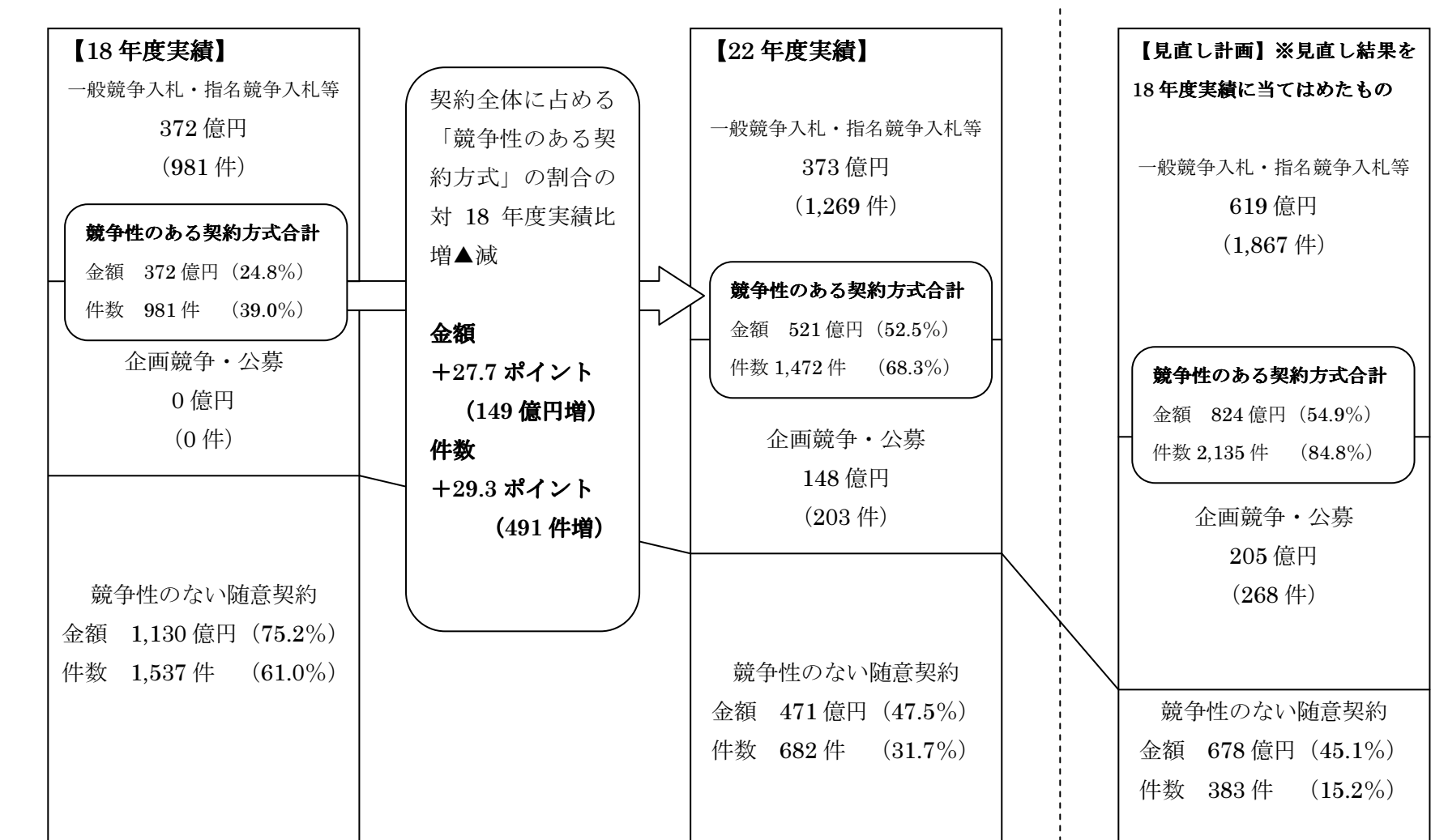
(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の () 書きは、平成 22 年度の対平成 18 年度伸率である。

(注3) 不落・不調の随意契約は、平成 18 年度は「競争性のない随意契約」に、平成 22 年度は「競争入札等」に整理している。

(注4) 「見直し計画」の競争入札等の欄には、「随意契約見直し計画」における「事務・事業を取りやめたもの」も含まれている。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成 22 年度に締結した契約の状況



(※)平成 22 年度実績の『競争性のない随意契約』682 件には、機器更新時に『競争性のある契約』へ移行予定のリース契約 290 件を含む。

2. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

① 一般競争入札へ移行

(ア) 競馬場等設備総合点検業務 10.3 億円

② 公募へ移行

(ア) 映像関連業務 14.7 億円

(イ) 電話投票加入者・指定席予約会員管理業務 3.7 億円

(ウ) オフィシャルホームページ等運用管理業務 2.7 億円

(エ) 競馬開催補助業務（入場券等発売業務管理） 0.3 億円

3. (参考) 契約形態別応札者数 (平成 22 年度)

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公 募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2 者以上	706	70.0%	256	99.2%	3	75.0%	2	1.0%
1 者以下	303	30.0%	2	0.8%	1	25.0%	199	99.0%
合 計	1,009	100.0%	258	100.0%	4	100.0%	201	100.0%